



地区青少年奉仕委員会では、地区内での青少年奉仕活動を共有するとともに、各クラブの青少年奉仕活動をさらに充実させるため、「青少年奉仕情報」を発行しております。各クラブの青少年奉仕活動をご紹介するだけでなく、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、職場・就業体験、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）、学友の活動についてもご紹介しています。ご愛読、そしてクラブ内への情報共有をよろしく申し上げます。

第35号の目次： 青少年奉仕から、本年度青少年奉仕アンケートの集計概要 「1年目地区委員のロータリーモメント」		
P. 7	インターアクト	安田学園インターアクトクラブのご紹介
P. 8	ローターアクト	「Love Act Tree～広げよう！愛の森～」
P. 14	職場・就業体験	職場体験・就業体験委員会について
P. 14	RYLA	RYLA 報告交流会

1. 地区青少年奉仕委員会の活動（ご報告など）

① 在京／地区青少年奉仕包括成果発表会（第7回）

4月7日、西新宿にて、在京／地区青少年奉仕包括成果発表会（第7回）を開催しました。当日は122名が出席しました（ロータリアン57名、青少年62名、米山奨学生3名）。この発表会はインターアクト、ローターアクト、青少年交換など青少年奉仕部門の「クロスプロモーション」（セクター間の交流促進と共同活動のきっかけ作り）を目的として、地区内のインターアクター、ローターアクター、青少年交換プログラムの



の来日学生・派遣予定学生・ROTEX、RYLArianが一堂に会し、各セクターから活動の報告を行い、共有します。また、中学生職場体験・高校生就業体験の受入れ事業所やゲストとしてお招きした米山奨学生からの報告なども行われました。

報告後は、青少年奉仕部門の各セクターが混合でグループを組み、意見交換を行いました。このグループにロータリアンも加わりますがオブザーバーです。国際色豊かであるとともに、年齢の幅もあります。意見交換会のテーマは「ロータリー活動を行うことで、未来の自分へ何を届けたいか?」、「夢を語り合おう」でした。

以下のとおり、各班からの発表がありました。発表者は主にインターアクター、派遣予定学生でした。

- ・「夢として、ホテル経営が挙がりました。人を笑顔にさせたいからです。自分が楽しいことだから夢をかなえたいと思います。楽しくないことの夢は見ません。楽しいことの夢があるから、がんばれます。インターアクト活動は楽しいことを見付けることにつながります。自分の楽しいことを見つけて、がむしゃらにがんばりたいです」
 - ・「夢として、自衛隊、看護師などが挙がりました。いずれも人を助ける仕事です。ロータリアンから、「ロータリーは人と人との関わりが多い。だからこそ、気付きがあるし、刺激がある」という言葉をいただきました。青少年交換プログラムに関われなければ、ロータリーを知ることはありませんでした。学生でありながら、大人の社会であったり、学生では経験できないことを経験できます。未来の自分のためになると実感しています。人と人の関わりを大切にして、成長していきたいです」
 - ・「夢として、ディズニーランドのキャスト、海外で働きたい、宇宙飛行士などが挙がりました。ロータリアンから、「人とかかわりがあるからこそ、自分の夢をかなえていくことができる」という言葉をいただきました。インターアクトクラブの残りの2年間、いろいろな人とかかわっていきたいです。経験を積んで、夢を探していきたいです。自分だけでなく、他人の立場になって考える人になりたいです。人の役に立ちたいです」
- 上記の報告に対して、新本ガバナーエレクトより、「ロータリーは一期一会をつないでいきます。今日ここでお会いしたことは縁を結んだということです。目に見えない何かを与えてくれます。そういう縁を大事にするかしないかで、人生が変わってきます。本日の経験を心に入れて、次のステップに進んでください。そうすることで人生が豊かになります」とのコメントがありました。

※ 沖縄分区でも青少年奉仕包括成果発表会が開催されることを期待するところです。

② 本年度青少年奉仕アンケートの集計概要（2012-2013年度との比較を含む）

地区青少年奉仕委員会は本年度も「青少年奉仕アンケート」を下記のとおり実施しました。趣旨は地区内各クラブの青少年奉仕活動の活性化のサポートです。ご協力いただきました各クラブの青少年奉仕担当のみなさま、誠にありがとうございました。今回、この「青少年奉仕アンケート」の集計概要をお送りします。職場・就業体験、インターアクト、ローターアクト、RYLAなどの地区内の青少年奉仕活動の傾向を把握できます。「(14) 全体的な印象」にまとめてあります。また、「青少年奉仕アンケート」は地区青少年奉仕委員会の名称変更前の地区新世代奉仕委員会より実施しております。現在のアンケート形式となりました2012-2013年度のアンケート集計と比較した((15))もございます(今号用に書き下ろし)。なお、5月13日ごろ、ガバナー事務所より各クラブに送信しました「青少年奉仕ガ

イドブック／第7版」にアンケートの詳細データがございます。

- (1) 2018年11月15日から2019年3月2日まで実施しました。
- (2) Eメールにてワードの記入用紙を送信し、このワードに記入の上、返信をいただく方式。(一部、FAXによる回答がありました)
- (3) アンケートの趣旨は以下のとおりです。
 - (ア) 地区青少年奉仕委員会の役割として地区内における青少年奉仕活動の実態調査をさせていただきます。当委員会の役割は地区内各クラブの青少年奉仕活動の活性化サポートと考えております。
 - (イ) 後日、この実態調査の結果を各クラブへお伝えすることにより、各クラブにおける青少年奉仕活動の活性化、あるいは青少年奉仕活動を始めるにあたっての具体的なヒントとさせていただければと考えています。また、地区内のクラブ間の情報共有にもなると考えています。
- (4) 70クラブ中66クラブから回答をいただきました。94.2%の回答率です。なお、前年度は65クラブからの回答をいただきました。
- (5) 各クラブの青少年奉仕の具体的な活動は、インターアクトクラブ提唱、ローターアクトクラブ提唱、青少年交換留学生受入れ、RYLAへの受講生派遣、中学生職場体験・高校生就業体験の受入れが中心となっていますが、「少年軟式野球大会の主催」や「特別支援学校体育大会の支援」など各クラブ独特の取り組みも多く報告され、青少年奉仕活動が活発に行われていることがわかりました。前年度52クラブに対し本年度54クラブでした。
- (6) 中学生職場体験・高校生就業体験は、28クラブで実施されており、第2580地区の青少年奉仕活動の特色といえそうです。クラブというよりは会員各人(事業所ごと)における活動となっており、クラブごと1~3事業所の受入れが多くなっています。2017年7月から2018年6月までの期間において、中学生の受入れ数は約110人、高校生の受入れ数は約120人となっています(人数が明確なものを根拠に算出)。中学生の受入れでは、東京東久留米ロータリークラブが60人、高校生の受入れでは、東京東村山ロータリークラブが30人、コザロータリークラブが20人となっています。
- (7) インターアクトクラブを提唱することを検討しているクラブは12クラブありました(前年のアンケートでは5クラブでした)。また、他クラブにて提唱しているインターアクトクラブへの協力を検討しているクラブは21です(前年のアンケートでは19クラブでした)。

インターアクトクラブ提唱クラブは10クラブです。地区内の61%のクラブがインターアクトクラブを「提唱している」か、「提唱を検討している」か、「協力ができる」としています。
- (8) ローターアクトクラブを提唱することを検討しているクラブは12クラブありました(前年のアンケートでは9クラブでした)。また、他クラブにて提唱しているローターアクトクラブへの協力を検討しているクラブは21です。

ローターアクトクラブ提唱クラブは 15 クラブとなっています。地区内の 68%のクラブがローターアクトクラブを「提唱している」か、「提唱を検討している」か、「協力ができる」としています。

また、「青少年奉仕情報の「ローターアクトクラブ例会へのお誘い」の掲載についてご存知でしょうか？」という質問に対しては、「知っている。例会にて配布、又は E メールにて配信」が 10 クラブ、「知っている。例会にて委員会報告等でアナウンスしている」が 19 クラブとなっています。前年度より低い数字になっています。

- (9) 地区職場・就業体験委員会は、当地区のサイトに「職場体験・就業体験」のページを設けており、職場体験・就業体験の派遣を希望する中学校・高校に情報提供しています。こちらの認識等についてです。「知っており、自クラブのロータリアンが掲載されている。さらに掲載希望のロータリアンがいる」との積極的な回答が 8 クラブでした。これに対して、「知っている。掲載もされているが、これ以上の掲載希望者はいない」との回答が 23 クラブ、「知っている。が、掲載は希望しない」との回答が 19 クラブとなっています。さらに、「知らない」との回答が 16 クラブとなっています。

なお、「知っており、自クラブのロータリアンが掲載されている。さらに掲載希望のロータリアンがいる」とするクラブへの積極的な情報提供とともに、上記「職場体験・就業体験」のページを「知らない」クラブを減らす必要があります。

- (10) 職場体験・就業体験を受け入れるにあたってどのような情報が必要でしょうか？という質問（この質問は複数回答です）に対しては、「受入れにあたってのマニュアル」との回答が 42、「受入れ体験記」との回答が 26 となっています。マニュアルと受入れ体験記の作成が必要となっています。また、ロータリアンによる受入れ体験に関する卓話との回答が 20 となっています。地区職場・就業体験委員会による対応が必要となっています。
- (11) 地区青少年奉仕委員会は、隔月にて、各クラブ宛て「青少年奉仕情報」を送信しています。こちらの認識、対応についてです。「知っており、例会にて配布、または E メールにて会員に配信している」との回答が 27 クラブ（前年度も 27 クラブ）、「知っており、例会にて委員会報告等でアナウンスをしている」との回答が 23 クラブとなっており、71%のクラブにて活用されています。なお、「知っているが配布、周知してない」とするクラブが前年度とほぼ同じく 16 クラブとなっています。
- (12) 本年度新設された地区学友委員会からのアンケートは、インターアクト、ローターアクト、青少年交換留学生などの学友（卒業生）とのつながりを継続し、将来のロータリアン候補者を獲得するための内容になっています。上記のロータリーファミリーと「何らかの連絡を取っていますか？」への回答は、「クラブとして名簿を整理している」が 12 クラブ、「担当したカウンセラーなどが個人的に連絡を取っている」が 45 クラブとなっており、81%のクラブがつながりを継続させていることがわかりました。また、このつながりが「10 年以上」となっているクラブが 19 ありました。地区学友委員会にて、クラブによる「つながりの継続」をサポートできる仕組みが必要となっています。
- (13) 本年度新設された地区 RYLA 委員会からのアンケートは、RYLA への理解度について検

証する内容になっています。RYLA への理解度としては、「よく理解している」が 9 クラブ、「概ね理解している」が 34 クラブに対して、「あまり理解していない」が 16 クラブ、「興味・関心が低い」が 8 クラブとなっています。また、地区 RYLA 委員会の行った卓話については、「とてもわかりやすかった」が 20 クラブ、「わかりやすかった」が 17 クラブに対して、「よくわからなかった」が 5 クラブ、「まったくわからなかった」が 0 クラブとなっています。地区 RYLA 委員会の行った卓話が総じてわかりやすい内容であったと推測できます。なお、RYLA を「あまり理解していない」、「関心・興味が低い」とするクラブと、地区 RYLA 委員会の卓話が未だのクラブには相関があるようです。

- (14) 全体的な印象としては、青少年奉仕活動が活発に行われているクラブが多数ある一方、会員数の減少から青少年奉仕活動が低調となっているクラブもあります。また、青少年奉仕以外の奉仕活動に注力されているクラブもあります。

インターアクトについては、提唱を検討しているクラブが前年度の 5 から 12 へと増加しました。関心が高まっているといえます。また、「提唱を検討していないが、他クラブにて提唱しているインターアクトクラブへの協力を検討しているクラブ」が 21 あります（こちらも前年度から増加しています）。このアンケートからそれぞれのクラブ名がわかりますので、提唱クラブから近隣の協力検討クラブへ、協力検討クラブから近隣の提唱クラブへお声掛けしていただければいかがでしょうか？ なお、沖縄分区のインターアクトクラブは県立高等学校に設置されているところがあります。このため、校長や顧問教師の異動が早いために、学校側でインターアクトクラブへの関心・理解が低いという現状がアンケートの自由記載に指摘されています。

ローターアクトについては、当地区にてその存在・意義・活動への理解が進んでいます。提唱となるとハードルがありますが、まずは近隣にて活動しているローターアクトクラブの例会に参加してみればいかがでしょうか？ 隔月発行の「青少年奉仕情報」にローターアクトクラブ例会のご案内とお問合せ先が掲載されています。また、地区青少年奉仕委員会の発行する「青少年奉仕情報／2018 年 1 月号」の特集では、「ローターアクトクラブ提唱するとどうなる？」を特集しました。ロータリアン、ロータリークラブが活性化することがわかります（当地区サイトにアーカイブされています）。なお、アンケートの自由記載には、地区ローターアクトの会計についての指摘が散見されます。地区ローターアクト委員会において、提唱ロータリークラブだけでなく、ローターアクトクラブ提唱に関心を持つロータリークラブへの適宜な共有が望まれています。

職場体験、就業体験は、クラブ単位ではなく、会員の事業所ごとに受入れができます。比較的期間も短く、予算も必要としないので、会員数の減少や高齢化に悩みつつ、青少年奉仕活動にご興味のあるクラブにて、会員の事業所が受け入れをするための環境づくりをしてみればいかがでしょうか。ロータリアンが、受け入れた中学生、高校生に対して、ロータリーを通じた人生観・職業観・倫理観をわかりやすく伝えることは、ロータリアン自身の職業奉仕になるだけでなく、クラブの活性化にもつながるかもしれません。

RYLA については、地区 RYLA 委員会の活躍により、設置初年度にも関わらず、当地区

内での周知が進んだことがわかります。3月に開催された RYLA セミナーの受講者も当初設定した定員を超える応募がありました。セミナー開催後、各ロータリークラブに報告を行うことにより、さらに理解が深まることとなるでしょう。なお、今後は、アンケートの自由記載にもあるとおり、ローターアクトとのすみ分け、また、セミナー終了後の RYLArian へのフォローという課題が想定されます。

学友については、各ロータリークラブ（あるいはロータリアン個人）において、ロータリーファミリー（ロータリー財団奨学生、ロータリー平和フェロー、米山奨学生、青少年交換来日学生、同派遣学生、インターアクトクラブ卒業生、ローターアクトクラブ卒業生）とのつながりが維持されていることがわかりました。今後、地区学友委員会として、継続的・組織的な取り組みを行えるかが鍵になっています。

(15) 2012-2013 年度の状況との比較

2012-2013 年度実施したアンケートにて、次の質問を行いました。「問 3 貴クラブは新世代奉仕活動を行っていますか?」。新世代奉仕の解釈として、「中学生職場体験、高校生インターンシップの受け入れや地域の小学校、中学校の行事・活動の支援も含まれるものと解しています。各クラブにおいて「職業奉仕委員会」や「社会奉仕委員会」にて行っている左記の事業にも「新世代奉仕」の要素はあると解しています」としました。地区青少年奉仕委員会では、「青少年奉仕」（当時は新世代奉仕）を国際ロータリーの公式プログラムよりも広く解釈しています。この質問への回答は、「行っている」が 52 クラブでした。本年度の同様の質問に対する回答とほぼ変動がありません。当地区では、中学生職場体験や高校生就業体験（当時は高校生インターンシップ）の受け入れを特色として、インターアクトやローターアクト、青少年交換プログラムなどの国際ロータリーの公式プログラム以外にも、地域・事業所に根差した青少年奉仕活動を継続してきたことがわかります。

しかし、変わった点もあります。(a) 2012-2013 年度実施したアンケートでは、自由回答にて、新世代奉仕活動について地区新世代奉仕委員会への広報を行うことのご要望が目立っていました。本年度のアンケートにはそのようなご要望はありません。当地区において、青少年奉仕への理解が進んだことがわかります。また、初期における地区新世代奉仕委員会、地区青少年奉仕委員会としての役割を果たしたといえるでしょう。(b) 2012-2013 年度より、ローターアクトクラブを提唱していないクラブに対し、「今後、ローターアクトクラブを提唱（共同提唱を含む）することを検討されていますか?」という質問をしてみました。「検討している」と回答したクラブのうち、年度ごとに 1 つのクラブがローターアクトクラブを提唱しています。これにより、2010-2011 年度（地区新世代奉仕委員会設置の前年度）、ローターアクトクラブは 7 クラブ、ローターアクター 57 人でしたが、本年度、15 クラブ、158 人となっています（4 月 7 日時点）。当地区において、大きな進捗があったのはローターアクトであったことがわかります。また、未提唱クラブのロータリアンとローターアクターとの交流が活発になり、ローターアクト卒業生による東京池袋 NEXT ロータリー衛星クラブの立上げ（つまり、ロータリアンになったということ）などにつながっています。

③ 1年目地区青少年奉仕委員のロータリーモメント その2

地区委員会を身近に感じていただくために、1年目委員のロータリーモメント（心に残るロータリー体験・きっかけ）をお届けします。

(1) 飯塚貞子地区青少年交換委員（東京本郷ロータリークラブ）

2018-2019年度より地区青少年交換委員を拝命しております。

「地区青少年交換委員は派遣予定学生・派遣学生・来日学生のお世話をしています」と同一クラブ所属の松岡浩地区青少年奉仕委員長より説明を受けまして、参加をさせていただくことになりました。1年目もあとわずかとなりましたが、イベントやその内容などなかなかうまく把握できずに過ぎようとしております。ですが、ご一緒させていただいております委員のみなさまをはじめ、学生たちとの出会いは、素晴らしい発見の連続でございます。何よりこの青少年交換プログラムによって、多くの学生たちが世界へ羽ばたく過程に寄り添えることは、望外の喜びでございます。令和という新しい時代を迎えます。微力ではございますが、女性としての目線をもって、時代に寄り添ったこのプログラムの一助になるべく研鑽を積み重ねてまいりたいと思っております。



3. インターアクトの活動（ご報告とご案内）（鈴木祥太地区インターアクト委員長より）

① 安田学園インターアクトクラブのご紹介

4月の学校新年度より安田学園（東京都墨田区）におきまして新規でインターアクトクラブの提唱が決定しました。提唱クラブは永年インターアクト・ローターアクトを提唱していて、青少年奉仕にたいへん理解の深い東京東ロータリークラブです。認証状の伝達式は6月9日（日）に開催予定ですが、チャーターの会員も順調に集まっている現状で盛大なお披露目が楽しみです。これによって当地区のインターアクトクラブは在京5クラブ、沖縄5クラブの10クラブになります。各インターアクトクラブが地元根差した奉仕活動を通して活発に活動し、思いやりのある青少年を育成することに期待します。みなさまへのお披露目は下記にあります7月28、29日開催の「インターアクト年次大会」になります。

② 今後の予定

- ・第56回インターアクト年次大会

日時： 2019年7月28日（日）～29日（月）

開催場所： 千葉県立水郷小見川少年自然の家

ホスト校： 愛国学園インターアクトクラブ

提唱クラブ： 東京東江戸川ロータリークラブ

※次年度の年次大会の日程が決まりました。みなさまのご参加をお待ちしております。

詳細は日程が近づきましたら、改めてご案内します。

4. ローターアクトの活動（ご報告とご案内）（地区ローターアクト広報委員会より）

① 地区ローターアクト代表からのご報告「第3回会長幹事会 ～輝き～」



3月24日、豊島区西巢鴨区民集会室にて、平成最後となる「第3回会長幹事会 ～輝き～」を実施いたしました。会長幹事会も本年度3回目となり、活動報告やグループワークの内容も第1回、第2回よりグレードアップし、運営側・参加側ともに成長を感じられる行事となりました。クラブ活動報告は限られたスライド枚数の中で、自由に表現し発表してもらいました。今までの様式を踏まえつつ、各クラブの個性が発揮された報告でした。グループワークでは「徹底討論 2580」と題し、特定のテーマでディベートを繰り広げてもらいました。参加者が賛成する意見で討論するのではなく、あえてグループで意見を固定させることで、単なる主張のぶつかり合いに終わらず、自分と反対意見を持つ人の考え・気持ちを理解する、貴重な時間を共有することができました。第2580地区ローターアクト地区年次大会まで残りわずかであり、全体がもっと団結していかなければならない時期となっています。この第3回会長幹事会を通して、私たちは1人1人の想いを集め、より大きな「輝き」を放つことができたと感じています。

② 地区Love委員会からのご報告「Love Act Tree～広げよう！愛の森～」

4月20日（土）、「Love Act Tree～広げよう！愛の森～」を地区Love委員会主催で、森林保護活動が開催されました。武蔵村山市にあたるトトロの森と呼ばれる森林にて、公益財団法人トトロの森基金様ご協力のもと、総勢19名で笹狩り活動に取り組みました。笹狩りとは、生態系を守るため、また災害時の被害をより少なくするために必要な森のお手入れになります。笹狩りの重要性を参加者へ共有した後に、実際の笹狩り活動を行いました。参加者のほとんどは鎌の使い方にも慣れていない状態でしたが、正しいレクチャーを受け、全員が夢中になって活動に取り組んでいました。当日は晴天にも恵まれ、交流をしながら気持ちのいい汗を流せる行事になりました。1時間ほどの活動でしたが、あたり一帯が見違えるほどに整備され参加者全員で達成感を得ることができました。



③ 東京東ローターアクトクラブ

◆活動報告：4月27日（土）「宮崎寿光のRYLA 報告例会」

東京東ローターアクトクラブの4月度例会では「宮崎寿光のRYLA 報告例会」と称して3月にスタートアップセミナーRYLAに参加した当クラブの直前会長、宮崎会員の報告卓話とそれに関するディスカッション例会を行いました。RYLAとはロータークラブが主催する将来のリーダーを育てるための合宿形式で行うセミナーです。例会では宮崎会員がRYLAでどのようなことを行ったのか、そこで学んだこと、楽しかったことを紹介していただきました。RYLAのディスカッションでは「ボス猿にリーダーシップはあるのか？」というような難解な内容のテーマをみなで話し合い、とても有意義な内容だったと語ってくれました。その後のディスカッションでは、リーダーシップに関して参加者全員で語り合い、今回の例会で改めてローターアクトのリーダー論について学ぶことができたと思います。



◆おすすめ例会情報：6月第1例会「ロータリアンによる卓話例会」

開催日：6月22日（土）

受付開始：12:30 開会点鐘：13:00

場所：日本フォームサービス株式会社

内容：本年度の最終例会では、東京東ロータークラブのローターアクト委員である鈴木一末様による卓話を行います。

登録先：東京東RAC会長 河村

④ 東京荒川ローターアクトクラブ

◆活動報告：4月6日（土）「東京荒川ロータークラブしだれ桜の会」

東京荒川ローターアクトクラブ会長のハルです。毎年定例の「東京荒川ロータークラブしだれ桜の会」についてご報告します。このお花見は、毎年4月の1週目頃に行われています。いつもたくさんのロータリアンが参加するので、新入会員が多い当クラブにとっては、ロータリアンと交流やコミュニケーションをとれる良いチャンスでした！



⑤ 東京池袋ローターアクトクラブ

◆活動報告：4月28日（日）「色彩講座～色を通じて識る世界」

4月28日(日)、南大塚地域文化創造館にて「色彩講座～色を通じて識る世界」を開催しました。例会では、NPO 法人 色彩生涯教育協会の笠井様、岩崎様、池田様に講師をしていただき、色彩が与える人への影響についてお話しいただきました。メラビアンの法則によると、第一印象を決定する最も大きな要因は「視覚」だそうです。その「視覚」を左右する要素として、色がいかに重要であるかをお話しいただきました。その後、一人ずつ似合う色を見比べ、それぞれに最も適した色を教えていただきました。東京池袋NEXTロータリー衛星クラブの塗木さんからは、「早速教えてもらった色のネクタイを買って、生活に取り入れようと思う」とおっしゃっていただきました。色彩生涯教育協会のブログでも本例会を紹介していただき、勉強になっただけでなく地域の関わりも持つことのできた素晴らしい例会となりました。



⑥ 東京江戸川ローターアクトクラブ

◆活動報告：4月19日(金)「東京江戸川ロータリークラブ川野様卓話」

本例会は東京江戸川ロータリークラブ川野様にお越しいただき、有名スポーツ選手のレアアイテム「メモラビリア」についてお話しいただきました。日本では考えられない金額での売買も盛んに行われているとのこととで会員一同驚きを隠せていませんでした。今後は「メモラビリア企業」が日本に進出し市場が拡大していく可能性も・・・

⑦ 東京ローターアクトクラブ

◆活動報告：3月25日(土)「サントリー天然水のビール工場 東京武蔵野ブルワリー」

3月度例会では、東京都府中市にあるサントリー東京武蔵野ブルワリーへ見学に行かせていただきました。見学で初めて知ったことが「プレミアムモルツ」は、ここ武蔵野ブルワリーで開発された「東京発のビール」ということです。このことでとても「プレミアムモルツ」に対して愛着が湧きました。また、ビールを作る過程にいくつものこだわりや工夫があることを目の当たりにしました。私たちは日頃何気なくビールを飲んでいますが、作っている方々に思いを馳せることのできた例会となりました。



◆おすすめ例会情報：5月度例会「味の素川崎工場見学」

開催日：5月18日(土)

開会点鐘：13:00

場所：味の素株式会社 川崎事業所

登録先：東京 RAC 幹事 小柳

⑧ 東京東江戸川ローターアクトクラブ

◆活動報告：4月16日（土）「管理栄養士の仕事について」

当クラブ副幹事の海老澤会員より、管理栄養士の仕事についての卓話をいただきました。健康的なダイエット方法や、カロリーの事柄について分かりやすくお話いただき、普段知ることのできない栄養、健康についての知識を得ることができました。東京東江戸川ローターアクトクラブは、学生、会社員、自営業、留学生等さまざまなメンバーで構成されております。この1年間は、他クラブとの合同例会やイベント主催が多い1年でしたが、会員の特技や特色を生かした例会も、個々の人となりを知り、多様な価値観に触れる機会になりますので、今後はより積極的に開催していきたいと思っております。他クラブのみなさまもぜひ、「こんな例会が良かった」等アイデアがありましたら、お寄せいただけますと幸いです。



⑨ 嘉悦大学ローターアクトクラブ

◆活動報告：4月22日（月）～26日（金）「新入生歓迎」例会

嘉悦大学ローターアクトクラブはローターアクトクラブ部として活動しています。新入生にクラブのことを知ってもらおうと、大学のE棟大会議室にて、1週間、他の3団体と合同で、説明会を行いました。嘉悦大学の4つの学友会が活動内容などについて各20分程度スライドを使って紹介しました。この説明会を機に1年生が2名入会してくれました。

◆おすすめ例会情報：5月第2例会「森本代表エレクト訪問」

開催日：5月30日（木）

受付開始：18:15 開会点鐘：18:30

場所：嘉悦大学 A212 教室

登録先：嘉悦大学 RAC 幹事 吉海

⑩ 東京ワセダローターアクトクラブ

◆活動報告：3月23日（土）「ワセダクリーンハイク（俳句）」

当クラブでは、毎年3月にワセダクリーンハイクを行っています。東京ワセダローターアクトクラブが拠点を置く早稲田という地域への社会奉仕活動の1つです。活動をさせていただいている地域の清掃を目的としています。また、毎年この時期に行うもう一つの理由として、お花見で多くの方々が訪れる前に神田川沿いの清掃と、ワセダクリーンハイクと俳句をかけまして清掃しながら



らそれぞれが俳句を考え、清掃後にその心を発表し合って楽しんでおります。清掃活動を通して、回収したゴミから毎回考えさせられることも多くあります。時々危険物も出てくるがあるので、お花見で多くの方々が訪れる前に清掃をする意味も大きいので微力かもしれませんが、今後も続けていきたいと思っています。

◆おすすめ例会情報:6月第1例会「毎年恒例 BBQ 例会」

開催日: 6月22日(土)

受付開始: 13:30 開会点鐘: 14:00

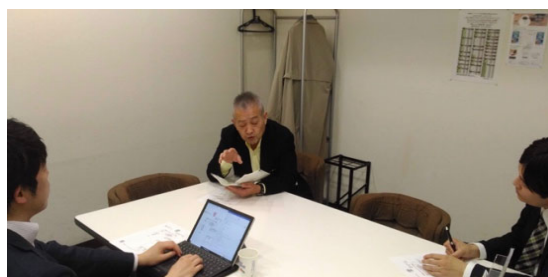
場所: そなエリアバーベキュー場

登録先: 東京ワセダ RAC 幹事 中村

⑪ 東京板橋セントラルローターアクトクラブ

◆活動報告: 3月26日(火)「ロータリアンによる卓話」

東京板橋セントラルロータークラブの坂口会長より卓話をいただきました。坂口会長は葬儀業を営んでいらっしゃるため、日本の葬儀の歴史を中心に起業までの道のりや現在の葬儀業の状況等についてもお話しいただきました。当たり前であるが故にあまり知らなかった寺での葬式の起源や沿革等を知ることができ、大変勉強になる例会でした。



⑫ 東京浅草中央ローターアクトクラブ

◆活動報告: 4月6日(土)「近くて遠い、でもやっぱり近い国、韓国」

国際奉仕委員長の朴賛祐会員のもと、日韓の異文化理解の例会を開催しました。遠い昔から、物的・人的・文化的な交流を行ってきた韓国と日本。その歴史性の深さゆえに、政治的な分野での軋轢や衝突が垣間見られたり、一方では、エンターテイメント分野での積極的な交流が行われているなど、日韓関係の様相は極めて多様化しています。当日は、韓国出身で日本の滞在経験も豊富な朴会員が、文化の違い・類似性はもちろんのこと、韓国に対するステレオタイプに対しての「実情」をわかりやすくレクチャーしました。また、韓国旅行で使える簡単韓国語フレーズも学習しました。韓国について、知らないことを学べたことはもちろん、知っていたことの実情が違っていただけなど、意外な発見が多くあった異文化理解例会でした。



◆おすすめ例会情報:7月第1例会「決起集会例会」

開催日:7月7日(日)

登録先:東京浅草中央RAC会計 島崎

⑬ 東京池袋西ローターアクトクラブ

◆活動報告:3月31日(日)「お花見例会」

風は少し冷たく、肌寒いながらも良く晴れた日曜日、春の訪れを感じながら行った花見例会は、関東ブロックのローターアクターも迎えながら、多くの方々にご参加いただきました。満開の桜のもと、料理を持ち寄り、1つの円になって親睦を深めました。東京浅草中央ローターアクトクラブと初めての合同例会で、同じ第2580地区の中でも活動場所が少し離れているため、今回は貴重な例会でした。またこのような機会を活かして活動の幅を広げることにつなげていきたいです。しかし、当クラブからの参加会員は少なかつたため、次の機会では更なる参加者増加を目指して準備したいと思います。本年度も残り少なくなりましたが、引続き他クラブのローターアクターのみなさまと親睦の輪を広げながら、次年度に向けてさまざまな活動につなげていきたいと思います。

⑭ 東京上野ローターアクトクラブ

◆活動報告:

(1) 4月13日(土)「“秀舞会”舞踊鑑賞例会」

東京上野ロータリークラブ会員であり、日本舞踊の花柳流家元である常盤基様の舞踊の発表会を東京上野ローターアクトクラブ会員で鑑賞しました。当日は舞踊歴15年の会員の襲名披露でもあったため、舞踊の文化に触れるとともに、メンバーの活躍をクラブで応援することができました。

(2) 4月20日(土)「東京上野ロータリークラブ奏楽堂コンサート」

東京上野ロータリークラブが上野奏楽堂にて年に一度行っているコンサート例会の運営をお手伝いさせていただきました。地域の楽団の子どもたちの演奏や、東京芸術大学の四重奏を鑑賞させていただき、クラシック音楽の魅力に触れることができました。

ローターアクトクラブ例会へのお誘い

各ローターアクトクラブから「おすすめ例会」として、ローターアクトクラブ例会などのご案内がございます。この例会については、未提唱クラブのロータリアンのご出席を歓迎しているものです。ぜひ、ご興味ございましたら、ローターアクト活動に直に触れていただければと存じます。青少年奉仕はまず青少年に会うことからです。お問合せやお申込みは「登録先」のメールアドレスになります。

ローターアクトクラブ例会への出席は、ロータリアンにとってもメーキャップになります。

5. 職場・就業体験の活動（ご報告）（澤部利藏地区職場・就業体験委員長より）

① 職場体験・就業体験委員会について

3つの基本活動、(1)受入事業数の増加及び登録の推進、(2)情報提供、(3)学校側への受入事業所情報の公開と周知を軸に活動してきました。多くの卓話依頼は残念ながら叶いませんでしたが、お伺いしたクラブでは熱心に聞いていただきました。職場体験は「働くことはどういうことか」を少しでも学生に理解してもらうこと、自身で考えてもらうことに目的があります。



東京都の公立中学校の職場体験実施率は、平成17年度では47.1%でしたが、平成26年度からは100%を維持しています。しかし、この数字はあくまでも東京都の公立学校のみで、私立ではあまり職場体験は実施されていないようです。需要が無いわけではなく、私立学校の学生の中には、自身でインターネットを通じて職場・就業体験を受け入れている会社を調べ、連絡してくる方もいます。個人で申し込まれても保険などの都合で受け入れられず、学校側に確認するように伝えているなど、私立学校の受入れについてロータリー側の態勢が整っていないのが実情です。職場・就業体験を受け入れることには不安等があるかと思いますが、受け入れたロータリアンからは、職場・就業体験が終わる「やって良かった」、「職員教育になった」などの声を多く聞きます。また、学生側の声を聞ける発表会が私の所属する東京本郷ロータリークラブと文京区教育委員会共催により毎年行われております。これを機会に、皆様も職場体験の受入れを検討いただけると幸いです。東京都では新年度に入り、就業体験についての高校側との連絡会についての案内が入りました。5月中旬に開催されるようで、出席する予定です。また、次年度に引き継ぐべき事項についての会議を「新旧委員会」として5月に開催します。

6. RYLAの活動（ご報告）（嶋村文男地区RYLA委員長より）

① RYLArianによる活動報告スピーチ

多くの方々のご協力により、第1回 RYLA セミナーが無事に終了しました。3月3日の閉講式で松坂順一ガバナーから、RYLA セミナー修了証をいただいた27名の受講生は晴れて「RYLA 学友」(RYLArian)として私たちロータリーファミリーの一員となりました。多くの RYLA 学友はスポンサークラブにセミナー参加の御礼と報告のため、クラブ例会に出席し、しっかりとしたスピーチをしてくれています。これは本当に嬉しいことで、第2回 RYLA セミナーへ向けての準備の第一歩であると思っています。





私はある学友の RYLA セミナーの報告の卓話を聴きました。彼はセミナーを終了後、アルバイトを辞めたそうです。第一講義の講師、鳥飼慶陽さんのお話しに感動し、今やるべきこと、今の時間をもっと大切に使うべきと勉学にスイッチが入ったとのこと。また、ある学友は、この RYLA セミナーでの 2 泊 3 日の班行動の中で、人と「リアル」にいることの素晴らしさを感じ、小学校の同窓会を自ら開催しようと母校を訪問したとのこと。そして、学友と

なったメンバーが、起点となりローターアクトクラブの結成に動き出したクラブが 3 クラブあります。第 1 回 RYLA セミナーのテーマ「心にふれ合う」のもと、27 名全員に何らかの好ましい変化が生まれたことは間違いありません。

最後に、この素晴らしい RYLA に出会えたことに感謝すると共に、RYLA 学友の輪を大切に育て、彼ら彼女らが地域社会のリーダーとして育ち、夢を持って立ち上がる日を楽しみに期待を込めて待ちたいと思っています。スポンサークラブのみなさま、RYLA 学友をよろしくお祈りします。

② RYLA 報告交流会

5 月 18 日（土）、四ツ谷にある主婦会館プラザエフで「RYLA 報告交流会」を開催しました。沖縄での RYLA セミナーの様子を動画で流し、RYLA 学友一人ひとりに RYLA セミナーの感想のスピーチをしてもらいました。当日は沖縄からの 6 名の学友を含めて 20 名の学友が集まり、私たちロータリアンと共に、あの沖縄での 3 日間を大いに語り合いました。



「青少年奉仕情報」第35号発行にあたって

一年を通しての一大イベントである青少年交換留学生のジャパンツアーが無事終わり、在京・地区青少年奉仕包括成果発表会も盛り上がり、これらの記事をはじめ諸活動報告を満載した今号がお手元に届くころには、本年度も残すところ1ヵ月半ぐらいとなります。第1回RYLA報告交流会、第1回学友の集い、第50回ローターアクト年次大会、青少年交換留学生の帰国前報告会と大きな行事が続きます。青少年奉仕関連の地区委員一同、最後まで気を緩めることなく取り組んでまいり所存でございます。「最後まで」と申しましても、終わるのは「年度」であり、青少年奉仕の活動は途切れなく年度を跨いで続きます。年度替わりに際して、地区委員の多少の入替えは毎年のことですが、人が代わることで地区委員会が良い意味で変わり、活性化することもこれまた事実です。松坂ガバナーのもと、本年度、地区では新しくRYLAと学友がスタートしました。担当委員会においては、スタートアップの御苦労も多々あったかと思えます。産みの苦しみが次年度以降に花開くことを祈念しつつ、2018-2019年度最後の「青少年奉仕情報」をお届けします。

地区青少年奉仕委員長 松岡浩（東京本郷ロータリークラブ）

今号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

クラブから、青少年奉仕活動の開催情報・ご報告（写真のデータとキャプションだけでもかまいません。随時募集中です）、また、本誌へのご意見・ご質問などをお待ちしております。

お問い合わせ／掲載希望などの連絡先

地区青少年奉仕委員会（担当；茂木）まで mitsu-motegi@msc.biglobe.ne.jp